

第2回 大腸癌肝転移データベース委員会 議事録

1. 開催概要

第105回大腸癌研究会学術集会

日時: 2026年7月2日(木) 14:10~14:40 広島コンベンションホール

形式: Web 会議併用

出席者 (50音順・敬称略)

石川 聖・石黒 めぐみ・上原 圭・岸本 光夫・川合 一茂・金光 幸秀・近藤 賢史・
小島 基寛・小林 康司・小林 宏寿・塩田 哲也・杉原 健一・須藤 剛・夏目 壮一
郎・名嘉眞 智樹・野澤 宏彰・橋口 陽二郎・平田 祥太郎・福長 洋介・松田 圭
二・松田 健司・水本 有紀・望月 秀太郎

web 参加 (50音順・敬称略)

大宮 直木・加藤 健志・谷 公孝・中村 正直・永井 雄三

2. 採択課題の進捗報告

過去のデータベース事業における採択課題の進捗が報告された。

2026年度採択課題では、杉本起一先生の「高齢者における大腸癌肝転移に対する肝切除後の長期成績と予後因子の検討」が Annals of Gastroenterological Surgery に Accept された。

また、小林和貴先生の「術前化学療法にて Progressive Disease と診断された症例の肝切除後予後の評価」は Annals of Surgical Oncology に Revision 投稿中、白田力先生の「腹腔鏡下肝切除と開腹肝切除の長期成績比較」は HPB に投稿中である。

その他の課題についても、論文化、査読対応、解析が進行中であり、委員会として引き続き論文化を支援する方針が確認された。

2. 第2期データベース事業の進捗

第2期事業として、東京科学大学の EDC を用いた新たな肝転移データベースを構築した。倫理審査を経て、2026年1月に EDC が完成した。今後はこの EDC を用いて、後ろ向き登録および前向き登録を行う。

3. 登録方針

本データベースでは、以下の2種類の登録を行う。

予後情報を含めた後ろ向き登録

現在治療中の症例を随時入力する前向き登録

前向き登録症例については、年1回、予後情報を更新する。

2026年は、以下を登録対象とする。

2018 年・2019 年治療症例： 予後情報を含めた後ろ向き登録

2026 年治療症例： 治療内容のみの前向き登録

4. 登録対象症例

登録対象は、自施設において肝転移に対する初回治療を行った症例 とする。

他院で大腸切除を行った後、肝切除目的で転院した症例については、大腸切除のみを行った施設からは登録しない。

非切除例も登録対象とする。

切除例： 肝切除施行年のデータベースに登録

非切除例： 肝転移診断年のデータベースに登録

データベースは 1 年ごとに分けて設置し、肝転移に対する治療開始年を基準として入力する。

5. 重複登録防止とアカウント運用

同一施設内で複数診療科が関与する症例については、いずれか 1 診療科から登録する。

アカウントは 1 施設 1 アカウント とし、複数診療科で登録・入力する場合はアカウントを共用する。

日本肝胆膵外科学会の全修練施設 A・B については、同学会側で取りまとめてアカウント発行を行う予定である。そのため、今回は全修練施設ではない施設のみ、アカウント発行を申請する。

重複申請があった場合は事務局で確認し、1 施設 1 アカウントとなるよう調整する。

6. アカウント申請

EDC アカウント申請期間は 2026 年 6 月～8 月 とする。

現時点で 6 件の申し込みがあることが報告された。

アカウント発行は東京科学大学に依頼して行うため、通年受付ではなく、年 1 回の期間限定受付とする。

7. EDC 利用上の注意

EDC は Excel ベースのインターフェースであり、Windows 環境での使用を前提 とする。

Mac 版 Excel では使用できないため、入力時には Windows PC を使用する必要がある。

操作方法については、マニュアルおよび操作動画を作成し、申請施設へ案内する予定である。

8. 今後の予定

2026 年 6 月～8 月

EDC アカウント申し込み受付

2026 年 9 月～12 月

2018 年・2019 年治療症例の後ろ向き登録

2026 年治療症例の前向き登録

2027 年 4 月～6 月

EDC アカウント申し込み受付

2027 年 7 月～12 月

2020 年・2021 年治療症例の後ろ向き登録

2026 年治療症例の予後情報更新

2027 年治療症例の前向き登録

2028 年 7 月以降 2018 年～2021 年データベースの利用開始予定

9. 質疑応答

肝切除目的で他院へ紹介された症例の登録方法について確認があった。

委員会より、肝転移に対する初回治療を行った施設で登録することを基本とし、紹介元施設では登録しない方針が説明された。

また、切除目的で紹介されたものの、紹介先で切除に至らなかった症例については登録漏れが生じる可能性があるが、重複登録防止を優先して運用する方針が共有された。

肝切除ではなく、RFA などの局所治療を行った症例に関しては局所治療を行った年で登録を行う。

登録ルールについては、今後 Q&A を作成し、参加施設に周知することとなった。

10. 決定事項

アカウント募集案内を再送する。

登録方法に関する Q&A を作成する。

11. 閉会

以上をもって、第 2 回肝転移データベース委員会を終了した。